

民需拡大に向けた新開発センター（仮称：ラボセンター）建設

民需拡大に向けた新技術、新製品開発のより一層の強化・加速を行うため、新開発センター（仮称：ラボセンター）の建設に着手する。新センターは、民需事業の中核となる機械事業部の拠点である住吉工場内に設置し、来年2月竣工の予定。第一次計画として、4階建て、約2,700平米からスタートする。

一昨年前に「ビジョンNEXT100」を策定し、3年後の創立100周年に向けて、新生クリモトとしての全社的取り組みを行っている。その中で、現在の官需と民需の比率70%対30%を将来的には逆転させることを目指している。今回の開発センターの建設は、それを実現するための研究拠点を形成するものである。

新開発センターは、従来の孤立した「研究所」としての機能ではなく、クリモトグループの持つ「強み」と昨年4月に発足した「ナノ・材料研究所」が中心に進めている「新材料研究」とを融合させることによりコア技術の開発とクリモトグループにおける商品化開発を行うというコラボレーション的機能を発揮することを目的とする。このことにより、コア技術の集中的開発と、開発された成果の迅速な新商品化が実現することになる。

平成18年度は、特に機械事業部と建材事業部とのコラボレーションを民需拡大の重点研究テーマとして位置づけ、既に研究開発をスタートしているが、これらの研究プロジェクトが、開発センターにおいてさらに効率的・加速的に進められることになる。

ナノ・材料研究所は、昨年4月に発足して以来、クリモトグループが有する基盤技術にナノテクノロジーの視点を取り入れることにより新材料を開発する「ナノ材料チーム」と、ホソカワミクロン(株)との連携等により新しいナノ粒子プロセス開発を推進する「ナノ粒子チーム」とが中心となり、新材料研究を加速的に進めている。これらの成果は、上記事業部との共同研究に活用されるだけでなく、他の事業部とのコラボレーションによる新商品化、さらにはホソカワミクロン(株)等との共同による新商品化に結びつけていく計画である。

さらに、現在技術開発本部と各事業部とが共同で推進している「マグネシウム合金」「燃料電池電動車椅子」「バイオ研究」「新エネルギー研究」などの重点開発プロジェクトについても、より一層の連携強化による開発のスピードアップを目指して、開発センターを拠点とした活動を行う。このことにより、全体としての民需の新製品売り上げの比率向上を図る計画である。

機械事業部のコア技術の一つである「混練機ビジネス」も、新しく建設される開発センターにおいて、この技術をナノテック的視点からとらえ、医薬品分野などに向けた新プロセスとして開発するなどの研究開発を進める予定である。

以上